

まちのわだいい

犯罪や非行のない 安全安心な社会を目指して

～社会を明るくする運動～

7月12日（水）、第73回社会を明るくする運動西伯郡研究大会が農村環境改善センターで行われました。

犯罪や非行のない安心で安全な明るい社会を目指して行われたこの運動には、西伯郡の町村長、教育関係者、保護司など約80人が参加しました。

大会では、内閣総理大臣と鳥取県知事からのメッセージ伝達があったほか、鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長の後藤弥氏が「子どもとスポーツ」～今、転換期を迎えて～と

題して講演。「スポーツをすることで挫折に打ち勝つ力を培い、マナーを守ることや良好な人間関係を作る方法を身に付けることができる」など、スポーツと子どもの成長の関わりについて話しました。



後藤氏の講演

双子の子育ての 悩みや喜びを共有

～やくらんぼの日～

7月21日（金）、子育て支援センターで双子・三つ子を育てる保護者の交流イベント「やくらんぼの日」が開催されました。双子・三つ子ならではの子育ての苦労や喜びを共有しながら、子育ての工夫などを情報交換する場として開かれ、当日は子育て中の2組6人の親子が参加しました。

自己紹介の後、センターの職員や参加者同士で子育ての悩みや楽しみを話し合いました。「片方が泣き始めるともう片方も泣き出してしまふ」「双子に手を取られて、上の子が甘えられる時間を取れないことがある」といった悩みや「月齢が進むにつれて、双子でも性格が全く違ってきて面白」といった子育ての楽しさを共有しました。

この「やくらんぼの日」は、11月にも開催予定とのこと。双子や三つ子の保護者、妊婦のみなさんは、参加してみたいかがでしょうか。



先輩ママとの情報交換

5年ぶりの柗水夏祭り

～フェスティバル・ディア・マスミズ～

柗水高原で7月22日（土）、フェスティバル・ディア・マスミズが開催されました。

伯耆町を代表する祭りのひとつであるフェスティバル・ディア・マスミズは、台風や感染症の影響を受け5年ぶりの開催。会場には、待ってました！と言わんばかりに約2,000人が来場し、屋台グルメや盆踊りを楽しんでいます。溝口音頭のお囃子と歌声にのせて踊る盆踊り大会も開催され、元気よく踊ったベストパフォーマーには焼肉セットなどがプレゼントされました。

フェスティバルの最後には天空花火大会が行われ、約1,000発の花火が夜空を彩りました。久しぶりの大きな花火に、会場からは「おおー！」「きれいー！」といった声があがり、待ちわびた多くの人々を魅了しました。



ベストパフォーマーは誰の手に！